

事務事業名	総合運動公園建設事業				担当	建設部 都市計画課 総合運動公園整備係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成7 年度～ 令和6 年度）	
法令根拠							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	2. 体育施設費			
事業概要	<p>・本公園は平成7年5月1日に都市計画決定され、「市民ひとり1スポーツ」を実践するスポーツ施設の中心となることはもちろん、災害時には避難場所としての役割を果たすための「防災公園」としての機能を兼ね備えた、都市公園である。</p> <p>・公園面積：26.6ha</p> <p>・整備施設：陸上競技場（サッカー場兼用）、多目的広場、子ども広場、相撲場、クラブハウス、弓道場、テニスコート、乗り物広場、運動広場、野球場等。</p> <p>・整備状況：平成30年度末に、北ブロックの整備が完了。 南ブロックは平成31年度から令和6年度までの6年間で、調整池や運動広場、野球場等を整備する。総事業費は38億8千万円。</p> <p>・第1期工区：陸上競技場周辺整備。 第2期工区：多目的広場周辺及び、テニスコート周辺整備。 第3期工区：硬式兼軟式野球場周辺整備。 第4期工区：運動広場周辺整備。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
30年度実績 第2期工区の内、テニスコート周辺整備事業を実施 駐車場整備工事、屋外トイレ整備工事、園路工事、 陸上競技場管理棟増築工事、南ブロック基本設計等業務等 31年度計画 第3期工区を実施 調整池整備工事、雨水排水路整備工事、樹木伐採工事等、 南ブロック実施設計業務等		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 管理面積（未買収地を除く）	ha	26.3	26.3	26.4	26.6	26.6
		イ 第2期工区進捗率（事業費ベース）	%	39.1	61.6	71.2	100	
		ウ 第3期工区進捗率（事業費ベース）	%					6.9
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
総合運動公園 市民		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 公園面積	ha	26.6	26.6	26.6	26.6	26.6
		イ 市民	人	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
総合運動公園の建設		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 整備率（事業費ベース）	%	37.8	42.8	45.0	51.5	53.6
		イ 市民が利用できる面積	ha	11.0	11.4	12.8	13.7	13.7
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
総合運動公園建設によるスポーツ・レクリエーションをする市民の増加		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア スポーツ・レクリエーションをしている割合	%	60.7	59.3	58.5	55.5	55.0
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円	154,000	109,000	45,050	141,950	95,000
		県支出金	千円	0	0	2,069	64,132	0
		地方債	千円	355,300	268,400	228,500	326,500	85,500
		その他	千円	52,000	39,670	26,000	30,500	28,300
		一般財源	千円	62,184	43,000	4,357	1,194	0
	事業費計(A)	千円	623,484	460,070	305,976	564,276	208,800	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	3,663	5,127	5,226	5,131	4,900
		人件費計(B)	千円	15,348	21,292	21,688	21,391	20,428
トータルコスト(A)+(B)		千円	638,832	481,362	327,664	585,667	229,228	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	<p>・以前から総合運動公園（野球、サッカー、テニス、陸上競技等）の建設要望があった。平成元年、地元小林自治会、山前地区議員団から整備要望書が提出され、市議会において請願書が採択された。平成7年度に都市計画決定され事業に着手したが、平成14年度、事務事業の見直しにより、事業休止した。</p> <p>平成18年度に策定した市勢発展長期計画により、要整備施設としての位置付けを行い、基本計画の見直しに着手した。平成23年度に新たな基本計画を策定し、北ブロックについて県の事業認可を受け、第1期工区の実施設計を行い、工事に着手した。</p>
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<p>・市民からは、以前と変わらず、整備要望がある。</p> <p>・東日本大震災以降、公園の防災機能向上の必要性が増している。</p> <p>・第1期工区として、陸上競技場とその周辺を平成23年度から平成25年度の3箇年で整備。続いて第2期工区「多目的広場周辺整備」として、多目的広場と子ども広場などを平成26年度と平成27年度の2箇年で整備。その後第2期工区「テニスコート周辺整備」として、クラブハウス、弓道場、テニスコート及び、乗り物エリアなどを平成28年度から平成30年度の3箇年で整備し、平成30年度末に北ブロックの整備が完了した。また、平成23年度に策定した基本計画の見直しを行い、南ブロックの基本設計を行った。</p> <p>・平成31年3月に、南ブロックの県事業認可を受け、平成31年度から事業に着手。</p>
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>・市民からは、早期完成の要望がある。</p> <p>・議会から、早期完成の建議要望が出されている。</p>

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 総合運動公園建設は、生涯スポーツ・レクリエーションの振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「生涯スポーツ・レクリエーションの振興」は、市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 総合運動公園の建設は、全市民を対象としたものであり、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 整備計画は、市民の意向や費用対効果を考慮した適切なものであり、また、事業も計画どおり進行しており、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 総合運動公園が完成せず、生涯スポーツ・レクリエーションの振興にマイナスの影響が出る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 平成30年度に基本計画の見直し及び、基本設計を行い、事業費の削減を図った。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 総合運動公園は、不特定多数の人が利用するものであり、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							